

学校法人専修大学は医療法人社団ALBA（横浜市）と、陸上競技部のオフィシャルパートナーに関する契約を結んだ。12月6日、神田キャンパスで調印式が行われ、松本健一理事長とALBAの熊木淳雄理事長が契約書を交わした。

期間は2024年12月1日から1年間。チームウェアにロゴを掲出する。ALBAは都内や神奈



長谷川監督、松本理事長、熊木理事長、宮岡部長（左から）

多くの学生や教職員がくじ引きに挑戦した

石川県との包括連携協定の締結を記念したイベント「石川県観光農林PR展」が11月11日、生田キャンパスで開かれた。このイベントは、石川県の魅力を伝えるとともに、県出身の女子学生（経済学）が活躍の場となる。多くの学生や教職員が参加し、PR展の魅力を体験した。PR展は、石川県の魅力を伝えるとともに、県出身の女子学生（経済学）が活躍の場となる。多くの学生や教職員が参加し、PR展の魅力を体験した。

11月9、10日に福島県会津若松市で開催された「公共政策フォーラム2024 in 会津若松」で、商学部石川和男ゼミチームが会津青年会議所理事長賞を受賞した。

入賞チームのメンバーと石川教授（左端）

公衆政策フォーラム

商・石川ゼミが入賞

日本公共政策学会主催。開催自治体が抱える地域課題に対し、公共政策を学ぶ全国の大学生が解決策を提言する政策コンペティションで、今年度のテーマは「地方都市における若者の定着」。

会津若松市で実現できるビジネス、地域活性化策を競うコンテストの実施を提案した。

メンバーは石川ゼミ3年次生6人。リーダーの河原井遼さんは「地方で生活したことがないメンバーで出場したため、アイデアが出るまで時間がかり、とても大変だった。現地調査を重ね、会津若松市民と交流したことで、当日堂々と発表できたことは、自分たちにとって大きく成長する機会になったと話している。

公共政策フォーラムには全国13大学が参加し、予選を突破した6組により決勝戦が行われた。

支援する会が寄付

11月26日に東京都内のレストランで「専修大学を支援する会」が今年も開催された。各界で活躍する校友や本学の支援者ら約50人が集結し、昨今集まった710万5000円の寄付金は全額、会の代表である桃野直樹募金アンバサダー（昭42法）から松本健一理事長へ手渡された。



桃野代表（右）から松本理事長に寄付金が手渡された

ワイン大学開講

11月22日、今年で16回目となるワイン大学が神田キャンパスで開催された。写真。

ワイン大学は校友会が活動の普及と交流を目的として実施しており、昨年より定員を20席分増やしたにもかかわらず、申し込み開始後わずか3日でキャンセル待ちになるほどの人気。在学生約80人のほか、大学関係者、校友・校友ら総勢約120人が参加する盛大なパーティーとなった。

ソムリエである講師の江畑進一氏が、ワインの楽しみ方から地球温暖化の影響まで初心者でもわかりやすく解説。普段なかなかできない数種類のワインの飲み比べや食事とのマリアージュを堪能した一夜となった。

24年度秋の叙勲・褒章

◇旭日小綬章 野田武則氏（昭51法・岩手県） 地方自治功労

◇旭日双光章 大築守氏（昭49法・埼玉） 地方自治功労

◇瑞宝双光章 浦野雅士氏（昭48商・香川県） 更生保護功労

就活だより

「4年次生へ進路決定者は「進路届」を就職支援システム「Sinet」もしくはキャリア形成支援窓口にて必ず提出してください。in Campus」から「就職アンケート」の回答にも協力をお願いします。

「3年次生へ就職活動では、自身を客観視して等身大の自分で臨むことが重要となります。進捗状況を確認するためにも「Sinet」上のアイカイブ動画（就職ガイダンスや準備講座等）を参考に、年末年始休暇期間を有効活用して準備を進めてください。また、些細なことでも分からないことなどはそのままにせず、キャリア形成支援課にご相談ください。

写真展「世紀を超える情熱 母校にエールを」

本学のスポーツ・文化活動に対し、力強いエールを送る専修大学全学応援団の歴史を振り返る写真展「世紀を超える情熱 母校にエールを」が、11月8日から18日まで生田キャンパスで開催された。今回の写真展では、1930年から今年までの約100年間に撮影された33点の写真を展示した。OGの服部抄織さん（旧姓・古川、平4文）は「歴史的に見ても、応援団がにぎわえば大学もにぎわうと思う。写真展の開催を機に、応援団を応援していただけたらうれしい」と話した。

全学応援団の歴史は古く、遅くとも大正初期には活動を開始していたことを示す記録が残っている。応援の指揮をとるリーダー部、華麗な演技で魅了するチアリーダー部、軽快な音色で盛り上げる吹奏楽部の三部からなり、箱根駅全学応援団の歴史は古く、遅くとも大正初期には活動を開始していたことを示す記録が残っている。応援の指揮をとるリーダー部、華麗な演技で魅了するチアリーダー部、軽快な音色で盛り上げる吹奏楽部の三部からなり、箱根駅



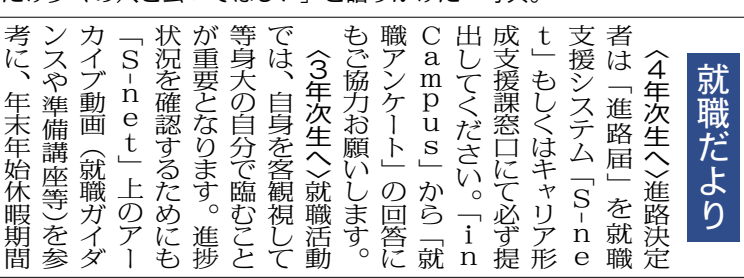
100年以上の歴史を振り返る33点の写真が展示された

全学応援団の歴史は古く、遅くとも大正初期には活動を開始していたことを示す記録が残っている。応援の指揮をとるリーダー部、華麗な演技で魅了するチアリーダー部、軽快な音色で盛り上げる吹奏楽部の三部からなり、箱根駅

BizReach CAMPUS LOUNGEで就活支援講座

就活支援講座の一環として「OB/OG訪問活用講座～自分だけが語れる情報を得て、周りに差をつける方法～」が11月27日、生田キャンパスの「BizReach CAMPUS LOUNGE」で開かれた。

株式会社ビズリーチ（渋谷区）の見藤潤さんが講師を務め、これから就職活動が本格化する3年次生らに実践的なアドバイスを伝えた。就職活動のポイントとして「自己分析」「業界研究」「企業研究」「選考対策」を挙げ、OB/OG訪問で、この四つの要素について思考を深めることができる。面接対策として社会人に慣れる意味でも、できるだけ多くの人と会ってほしい」と語りかけた＝写真。

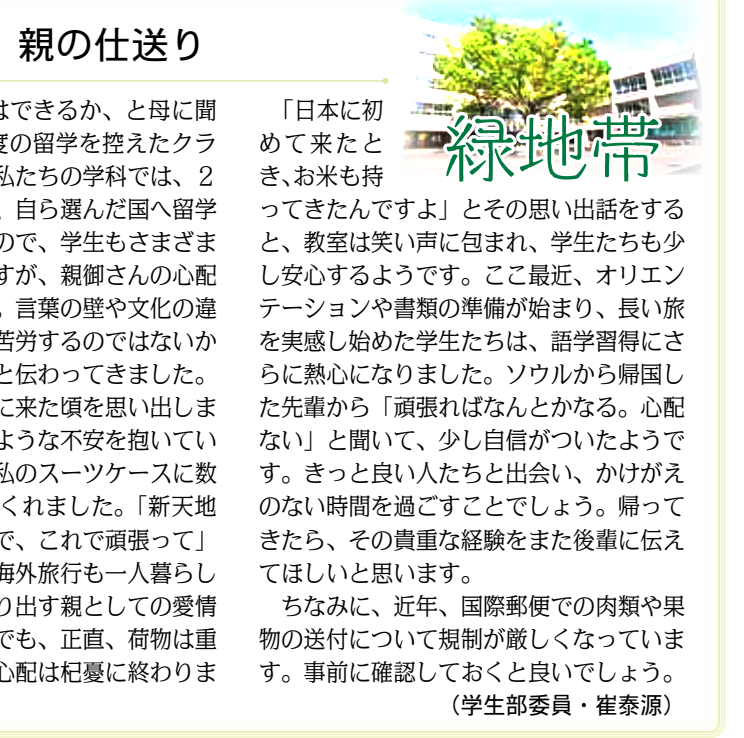


BizReach CAMPUS LOUNGEで就活支援講座

親の仕送り

「日本に初めて来たとき、お米も持ってきたんですよ」とその思い出話をする。教室は笑い声に包まれ、学生たちも少し安心するようです。ここ最近、オリエンテーションや書類の準備が始まり、長い旅を実感し始めた学生たちは、語学習得にさらに熱心になりました。ソウルから帰国した先輩から「頑張ればなんとかなる。心配ない」と聞いて、少し自信がついたようです。きっと良い人たちと出会い、かけがえない時間を過ごすことでしょう。帰ってきたら、その貴重な経験をまた後輩に伝えてほしいと思います。

ちなみに、近年、国際郵便での肉類や果物の送付について規制が厳しくなっています。事前に確認しておくとう良いでしょう。（学生部委員・崔泰源）



緑地帯